

INFORMATION

株式会社キユーリン

本社 北九州市八幡西区森下町 27 番 25 号

〒806-0046 TEL:093(642)3911 FAX:093(642)3967

営業所 北九州 飯塚 久留米 下関 山口 萩

URL:<http://www.kyurin.co.jp/>

E-mail:kyurin@kyurin.co.jp

2025年3月

No.25-036a(全)※5

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

■新規受託項目

- マイコプラズマジェニタリウム核酸およびマクロライド耐性変異同時検出

■受託開始日

- 2025年3月31日(月)ご依頼分より

以上

マイコプラズマ・ジェニタリウム核酸およびマクロライド耐性変異同時検出

性感染症における診断補助および適切な抗菌薬の選択に有用な検査です。

マイコプラズマ・ジェニタリウム(*Mycoplasma genitalium*: MG)感染症は、男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎を引き起こす性感染症の1つです。

マイコプラズマ・ジェニタリウムは、薬剤耐性化が世界的に問題となっており、日本においても第一選択であるマクロライド系抗菌薬に対し、50%以上が耐性化しているとの報告があります。多剤耐性例も確認されるなど難治例が増加していることから、薬剤耐性、特にマクロライド耐性を確認するための検査が重要になると考えられています。

本検査は、検体から抽出したDNAを用いて、マイコプラズマ・ジェニタリウムDNAとマクロライド耐性関連変異である23S rRNAドメインV領域の主要な変異を同時に検出いたします。マイコプラズマ・ジェニタリウムのマクロライド耐性を早期に把握することで、適切な抗菌薬を選択できるようになることが期待されています。

▼疾患との関連

性感染症

尿道炎

子宮頸管炎

▼関連する主な検査項目

淋菌DNA、クラミジアトラコマチスDNA

淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定

膣トリコモナスおよびマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出

■検査要項

検査項目名	マイコプラズマ・ジェニタリウム核酸およびマクロライド耐性変異同時検出	
項目コード	-	
検体量	単独検体 分泌物 [容器番号:ARR]	単独検体 部分尿 0.7mL [容器番号:ARR]
保存方法	必ず凍結保存してください	
検査方法	PCR(リアルタイムPCR)	
基準値	検出せず	
報告様式	マイコプラズマ・ジェニタリウムDNA:検出せず、陽性(+)、判定不能 23S rRNA遺伝子変異:同上	
所要日数	4~7日	
検査実施料	350点 (「D023」微生物核酸同定・定量検査「12」)*	
判断料	150点(微生物学的検査判断料)	
検査委託先	エスアールエル (→5)	
備考	他項目との重複依頼は避けてください。 分泌物:子宮頸管周辺の過剰な粘液を綿棒等で取り除いた後、滅菌スワブを子宮頸管内に挿入し、同じ方向に複数回まわして採取してください。スワブは滅菌ポリスピッツ(ARR)に入れ凍結保存してください。スワブの指定はありませんが、ブレイクポイント(折り目)のあるスワブをお勧めいたします。 部分尿:最後の排尿から少なくとも1時間以上経過後の初尿を採取してください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	

*: 「マイコプラズマ・ジェニタリウム核酸及びマクロライド耐性変異同時検出」は、以下のいずれかに該当する場合であって、リアルタイムPCR法により測定した場合に算定する。

- ア マイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して、治療法の選択を目的として行った場合。
- イ マイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して、治療効果判定を目的として行った場合。

■参考文献

日本性感染症学会:性感染症 診断・治療ガイドライン 2020. (臨床的意義参考文献).